

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年7月15日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊佐市 (46224)
地域名 (地域内農業集落名)	牛尾地区 (郡山、牛尾、永野原、白ヶ谷、鉢業所、奈良野、一ノ渡瀬、木ノ氏、上木ノ氏、笹野)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	227 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	227 ha
② 田の面積	197 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	30 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	64 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	64 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区では、主に水稻の栽培が行われており、農業者の平均年齢は68歳と高齢である。また、シカ、イノシシによる鳥獣被害が年々増大している。持続的な農地の利用を図りながら地域の活性化を進めていくためには、新規就農者の確保・育成と鳥獣被害防止への対策が必要である。大田地区においては、機構関連事業を活用した圃場整備事業に着手し、令和12年度までの完了を予定している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

基幹作物である水稻を主要作物とし、肉用牛や野菜等の経営を今後とも推進する。併せて、農作業の効率化を図るためドローンを利用した農薬散布など、スマート農業の導入を推進する。鳥獣被害(イノシシ、シカ)を防止するためのメッシュ柵の設置に地域全体で計画的に取り組んでいく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
大田地区については、機構関連事業の活用により、農地の集積・集約化を図っていく。その他の地区では中心経営体に貸し出せる農地を整理して、目標地図の更新を図りながら効率的な農用地の活用を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	53	%	将来の目標とする集積率
			60 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
機構関連事業の活用により、集団化を目指す。基盤整備を行わない農地については、耕作可能な農地が耕作放棄地にならないよう担い手に集積していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
機構関連事業を活用するほか、地域内農地については地域の担い手が優先的に借り受け、効率的な農業経営ができるよう努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用し、大田地区の農地の大区画化を図る。 その他の地区においても多様な経営体が農地中間管理機構の事業に積極的に取り組んでいく。
(3)基盤整備事業への取組
農地中間管理機構関連農地整備事業により、大田地区の農地を整備し、農地集積の推進と生産効率の向上を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
兼業農家や高齢農家との状況等を把握しながら必要な農地の集積等を支援し、将来の地域を担う多様な経営体として育成していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業公社や集落営農組織に農作業を委託し、作業の効率化と経営の安定を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①市鳥獣被害防止計画により、捕獲や防止柵設置を今後とも継続していくほか、市内の有害鳥獣処理施設により解体・加工されたジビエ肉活用の普及・周知を行っていく。
- ②家畜排せつ物堆肥化肥料の利用を推進するなど、消費者ニーズも踏まえつつJAと連携し、営農指導を行っていく。
- ⑨耕作放棄地となっている農地での飼料用作物栽培を推進するなど、飼料の市内生産を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	(別紙)								
計	39経営体		125 ha	0 ha		141 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農		水稻、かぼちゃ、ぶどう、そば、その他果樹	18.3 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ、ぶどう、そば、その他果樹	20.0 ha	0 ha	1	
2	認農		水稻、大豆	16.1 ha	0 ha	水稻、大豆	17.6 ha	0 ha	2	
3	認農		水稻	14.1 ha	0 ha	水稻	15.4 ha	0 ha	3	
4	認農		水稻、大豆	8.4 ha	0 ha	水稻、大豆	9.2 ha	0 ha	4	
5	認農		水稻、肉用牛、大豆、その他野菜	7.5 ha	0 ha	水稻、肉用牛、大豆、その他野菜	8.2 ha	0 ha	5	
6	認農		水稻、さといも、ばれいしょ、かんしょ	6.5 ha	0 ha	水稻、さといも、ばれいしょ、かんしょ	7.1 ha	0 ha	6	
7	認農		水稻、ぶどう、その他果樹	6.3 ha	0 ha	水稻、ぶどう、その他果樹	6.9 ha	0 ha	7	
8	認農		水稻	6.1 ha	0 ha	水稻	6.7 ha	0 ha	8	
9	認農		水稻、トマト、ぶどう	6.0 ha	0 ha	水稻、トマト、ぶどう	6.6 ha	0 ha	9	
10	認農		水稻、たまねぎ、かぼちゃ	4.0 ha	0 ha	水稻、たまねぎ、かぼちゃ	4.4 ha	0 ha	10	
11	認農		水稻、大豆	3.9 ha	0 ha	水稻、大豆	5.0 ha	0 ha	11	
12	認農		水稻、かぼちゃ、ごぼう、ねぎ	2.2 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ、ごぼう、ねぎ	2.9 ha	0 ha	12	
13	利用者		水稻	2.2 ha	0 ha	水稻	2.9 ha	0 ha	13	
14	認農		水稻、酪農	2.2 ha	0 ha	水稻、酪農	2.9 ha	0 ha	14	
15	認農		ねぎ、かぼちゃ	2.0 ha	0 ha	ねぎ、かぼちゃ	2.6 ha	0 ha	15	
16	到達		水稻、大豆	1.8 ha	0 ha	水稻、大豆	2.3 ha	0 ha	16	
17	認農		水稻	1.8 ha	0 ha	水稻	2.3 ha	0 ha	17	
18	認農		水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	1.6 ha	0 ha	水稻、加工用米、トマト、メロン、大豆	2.1 ha	0 ha	18	
19	認農		肉用牛、飼料作物	1.5 ha	0 ha	肉用牛、飼料作物	1.9 ha	0 ha	19	
20	認農		水稻、肉用牛	1.5 ha	0 ha	水稻、肉用牛	1.9 ha	0 ha	20	
21	認農		水稻	1.4 ha	0 ha	水稻	1.7 ha	0 ha	21	
22	利用者		水稻	1.4 ha	0 ha	水稻	1.7 ha	0 ha	22	
23	認農		水稻、ねぎ、大豆	1.0 ha	0 ha	水稻、ねぎ、大豆	1.2 ha	0 ha	23	
24	認農		水稻、かぼちゃ、カリフラワー	1.0 ha	0 ha	水稻、かぼちゃ、カリフラワー	1.2 ha	0 ha	24	
25	認農		水稻、肉用牛	1.0 ha	0 ha	水稻、肉用牛	1.2 ha	0 ha	25	
26	認農		水稻	1.0 ha	0 ha	水稻	1.2 ha	0 ha	26	
27	認農		水稻、大豆	0.8 ha	0 ha	水稻、大豆	1.0 ha	0 ha	27	
28	認農		水稻、肉用牛	0.5 ha	0 ha	水稻、肉用牛	0.6 ha	0 ha	28	
29	認農		水稻、肉用牛	0.5 ha	0 ha	水稻、肉用牛	0.6 ha	0 ha	29	
30	認農		水稻、ねぎ	0.4 ha	0 ha	水稻、ねぎ	0.5 ha	0 ha	30	
31	認農		水稻、養豚、肉用牛、大豆	0.3 ha	0 ha	水稻、養豚、肉用牛、大豆	0.3 ha	0 ha	31	
32	認農		水稻、トマト	0.3 ha	0 ha	水稻、トマト	0.3 ha	0 ha	32	
33	利用者		水稻	0.3 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	33	
34	認農		水稻、大豆、ねぎ、かぼちゃ	0.2 ha	0 ha	水稻、大豆、ねぎ、かぼちゃ	0.2 ha	0 ha	34	
35	認農		水稻、大豆	0.1 ha	0 ha	水稻、大豆	0.1 ha	0 ha	35	
36	認農		水稻	0.1 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	36	
37	認農		水稻、肉用牛	0.1 ha	0 ha	水稻、肉用牛	0.1 ha	0 ha	37	
38	認農		水稻、ねぎ、大豆	0.1 ha	0 ha	水稻、ねぎ、大豆	0.1 ha	0 ha	38	
39	認農		肉用牛	0.0 ha	0 ha	肉用牛	0.0 ha	0 ha	39	農業用施設（畜産）

